



一般的なホール（上図左）では、舞台天井の高さは客席から見える部分の2倍以上あるが、音楽センター（右）では両者がほぼ同じ

# 現状

価値ある建物も47年が経ち、傷みや問題が出てきています。現状と問題点を考えます。

さまざまな問題点と先の見えない改修費用

昭和三十四（一九五九）年に着工し、当時は最先端の施設だった音楽センターも、現在では、老朽化が進んでいます。

時代とともに大型化した舞台セットも、当時は想定されていませんでした。そのため現在では、さまざまな問題点が指摘されています。問題点は直せばいいのですが、ことはそう簡単ではありません。

これまでも、老朽化対策や使い勝手向上のために、何度も改修を行いました。下表のように、莫大な費用がかかっています。レモンドが設計したという付加価値が、改修工事を複雑

## レコード大賞で振り返る音楽センター

第1回	1959	黒い花びら	水原弘
2回	1960	誰よりも君を愛す	松尾和子とマヒナスターズ
3回	1961	君恋し	フランク永井
4回	1962	いつでも夢を	橋幸夫&吉永小百合
5回	1963	こんにちは赤ちゃん	梓みちよ
6回	1964	愛と死を見つめて	青山和子
7回	1965	柔	美空ひばり
8回	1966	霧氷	橋幸夫
9回	1967	ブルー・シャトウ	ジャッキー吉川とブルー・コメッツ
10回	1968	天使の誘惑	黛ジュン
11回	1969	いいじゃないの幸せならば	佐良直美
12回	1970	今日でお別れ	菅原洋一
13回	1971	また逢う日まで	尾崎紀世彦
14回	1972	喝采	ちあきなおみ
15回	1973	夜空	五木ひろし
16回	1974	襟裳岬	森進一
17回	1975	シクラメンのかほり	布施明
18回	1976	北の宿から	都はるみ
19回	1977	勝手にしやがれ	沢田研二
20回	1978	UFO	ピンクレディー
21回	1979	魅せられて	ジュディ・オング
22回	1980	雨の慕情	八代亜紀
23回	1981	ルビーの指輪	寺尾聰
24回	1982	北酒場	細川たかし
25回	1983	矢切の渡し	細川たかし
26回	1984	長良川艶歌	五木ひろし
27回	1985	ミ・アモーレ	中森明菜
28回	1986	DESIRE	中森明菜
29回	1987	愚か者	近藤真彦
30回	1988	パラダイス銀河	光GENJI
31回	1989	淋しい熱帯魚	Wink
32回	1990	恋歌綴り	堀内孝雄
		おどるボンボリン	B.B.クィーンズ
33回	1991	北の大地	北島三郎
		愛は勝つ	KAN
34回	1992	白い海峡	大月みやこ
		君がいるだけで	米米CLUB
35回	1993	無言坂	香西かおり
36回	1994	innocent world	Mr.Children
37回	1995	OVER NIGHT SENSATION	trf
38回	1996	Don't wanna cry	安室奈美恵
39回	1997	CAN YOU CELEBRATE?	安室奈美恵
40回	1998	wanna Be A Dreammaker	globe
41回	1999	Winter again	GLAY
42回	2000	TSUNAMI	サザンオールスターズ
43回	2001	Dearest	浜崎あゆみ
44回	2002	Voyage	浜崎あゆみ
45回	2003	No way to say	浜崎あゆみ
46回	2004	Sign	Mr.Children
47回	2005	Butterfly	倅田来未
48回	2006	一剣	氷川きよし
49回	2007	蕾	コブクロ



①鉄製で重い入口の扉 ②ホール入口の扉は遮音性が低く開口部も狭い ③車いす利用者がホール内に入るための設備は西側入り口（第4通路）に設置してあるリフト1基のみ ④客席通路の階段のステップ幅が違い、暗がりではつまづきやすい ⑤足元灯は非常灯機能が無く設置位置も悪い ⑥夏場はしばしば地下通路の床が浸水する ⑦前席との間が狭く、人が座っていると中ほどの席への移動はしづらい

## これまでの主な改修履歴

年度	改修工事の内容	工事費（単位：円）
昭和49年	調光装置取り替え工事	23,000,000
53年	客席いす取り替え工事	17,160,000
54年	客席いす取り替え工事	15,300,000
62年	空調設備改修工事	92,000,000
63年	外壁ほかの改修	61,855,000
	舞台機構設備改修・音響反射板改修ほか	79,940,000
平成元年	舞台床張り替え工事	23,690,000
	音響設備改修工事	70,040,000
2年	ホール屋根防水工事	59,740,000
3年	空調設備改修工事	92,000,000
4年	舞台床張り替え・搬入口鉄扉二重化ほか	28,389,890
5年	第4通路車いす用リフト設置	23,892,910
14年	屋根防水工事	30,000,000
16年	屋根防水工事（雨漏り対策）	29,999,000
17年	中央監視装置と自動制御装置更新工事	19,425,000

にし、費用を押し上げる要因にもなっています。

問題個所を一つ一つ直していても、この先いくらかかるか分かりません。まして十年、二十年先を考えると、またほかの傷みや問題が生じることも考えられます。

音楽センターを今後どんなホールにするのか。音楽専用か多目的か、コンベンションホールなのか、使用目的によっても改修の仕方は変わってきます。先の見えない改修費用とホール用途の方向性。市が音楽セン

ターの今後を決めかねている最大の理由は、そこにあるのです。現在指摘されている具体的な問題点は、次のとおりです。

### ロビーや客席の問題

音楽センターの入口は重く、開口部が狭く、車いすの出入りや非常時に約二千人を避難させるには不十分です。ホール入口は遮音・遮光に効果的な二重扉になっていません。トイレの数が不足していて、開演時間が遅れることもしばしばです。

バリアフリーへの対応も不十分で、ロビーから車いす席までがスロープ化されていません。客席のいすは傷みがひどく、座り心地も快適ではありません。前席との間も狭く、人が座っていると、中ほどの席への移動は非常に困難です。

### 音響面での問題

客席通路の階段は段差が不規則で、暗がりでの移動は注意が必要です。足元灯は位置が悪い上、非常時に点灯する機能がありません。

### 舞台関係の問題

幕や背景、反射板などを吊る

ためのモーターや滑車類、照明具は、老朽化が進み、交換が必要です。天井反射板も劣化が進み、たわみ・きしみ音が増えています。

客席側から照らす舞台照明のある部屋（フロント・シーリングルーム）への係員の移動が非常に困難で、移動中に落下するおそれがあります。

舞台とロビーをつなぐ地下通路や舞台の下から、地下水が染み出し、浸水することがあります。電気設備は開館当時のもので、修理しようにも、既に部品がない状態です。

楽屋の数が少なく、男女別・クラス別などの部屋割りが十分にできません。大人数が出演する催しでは、入りきれないこともあります。個室がないため、主演クラスも相部屋となってしまう、主催者が頭を抱えています。

### 音響面での問題

近年の大ホールと比べて、音響特性がよくありません。クラシック音楽には、残響時間二秒近くが最適といわれていますが、音楽センターは一・〇〜一・三秒と短く、響きが弱い感じがあります。

改善するには、舞台の反射板、座席の材質、客席内装ボードの改良が必要です。

## 改修では解決できない問題

もともと群響の演奏や歌舞伎の公演を意識して建てられた音楽センターは、舞台の天井が低くなっています。

そのため、大がかりな舞台転換が必要な演劇の上演や、大型化したポピュラーやロックの舞台セットには対応できません（上図参照）。建物の構造上、天井の高さは、改修しても変えることはできません。



そこで部分から舞台を見た写真。舞台天井は低い。この部分は外壁自体に高さがないという構造上の問題がある

## 市内にある主なホール

市内には7つの文化ホールがあります（下表参照）。ひと口にホールといっても、その規模や用途はさまざまで、担っている役割も違います。シティギャラリーには、絵画・彫刻などの展示会ができる展示室などがありますが、ここではホールの機能に関して見てみます。

施設名	座席数	主な用途
音楽センター	1,932	クラシック、吹奏楽などのコンサート 演劇、舞踊、大会や式典などの記念行事
シンフォニーホール	-	オーケストラ、吹奏楽、合唱、合奏などの練習
市文化会館	701	ポップス、ピアノなどのコンサート 映画上映、演劇、講演会
シティギャラリー （コアホール）	322	ピアノなどのコンサートや発表会 講演会、記念行事
箕郷文化会館	597	吹奏楽、カラオケ・合唱などの発表会、記念行事
新町文化ホール	485	音楽系コンテスト、カラオケ・合唱などの発表会、演劇
榛名文化会館 エコー	505	ポップスコンサート、ピアノ・カラオケなどの発表会